

JFE商事大阪グループ

大阪マラソン完走 胸に「安全第一」

JFE商事大阪支社、JFE商事甲南スチールセンター（本社〓神戸市東灘区、北島真治社長）、JFE商事ブリキセンター（本社〓大阪府大東市、田中和哉社長）の社員らは2月末、大阪マラソン2026（大阪府、大阪市など主催）に参加した。役員や社員、グループ会社社員など20〜60代の幅広いメンバー計4人が、自身の体力や体調と向き合いながらゴールに向かって完走。他社員も応援に駆け付け、絆を深めた。発起人であるJFE商事甲南スチールセンターの北島社長によると、参加したメンバーは北島社長と、JFE商事大阪支社厚板室、JFE商事ブ

リキセンターに所属する20〜60代の男女計4人。このうち北島社長と吉田幸介・厚板室長は、同マラソンがチャリティー文化普及を目指して用意した枠であるチャリティーランナーとして参加した。当日は、大会開始前に参加者の集合写真を撮る



参加メンバー（左から3人目が北島社長）



旗を振って応援した

事甲南スチールセンターの行動規範、コイルのイラストなどが描かれた旗を振りながら、

影。個々のペースや体調に合わせて走った。北島社長は「安全第一」とのメッセージを胸面ゼッケンに印字し、自身も安全を最優先しながら完走した。その他メンバーは一般ランナー枠で参加した。最高気温21度と想定外の暑さの中、各地点には、応援に駆け付けた各社のメンバーが待機。会社ロゴや「安全が全ての事業基盤」といったJFE商

ゴールを目指す仲間と一緒に走った。北島社長は「給水所では水を頭からかぶる、可能な限り日陰を走るといった暑さ対策に終始した。応援メンバーの声援は大きな力になる。毎年、感謝しかない。来年度以降も、最高の雰囲気を楽しめる大阪マラソンにチャリティーランナーとして参加したい」と話している。